

**【公 表】事業所における自己評価総括表**

事業所名	児童ルームたちっキッズ大宰府			
保護者評価実施期間	令和 7年 9月 1日	～	令和 7年 9月 20日	
保護者評価有効回答数	対象者数	43名	回答者数	36名
従業者評価実施期間	令和 7年 9月 1日	～	令和 7年 9月 20日	
従業者評価有効回答数	対象者数	7名	回答者数	7名
総括表作成日	令和 7年 11月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いスタッフが在籍している。	ST、OT、PTを中心とし、個別訓練や、運動療育を利用者に提供できている。	事業所内の勉強会や、日ごろからの話し合いの場を積極的に設け、事業所の質を高めていく。
2	利用者の自立に向けて、調理活動や、課外活動を積極的に取り入れて日常生活動作や、社会生活スキルの向上につなげている。	買い物訓練や外食体験を取り入れることによって利用者が自信を持てるようにしている。	事業所以外でも同様の活動を続けられるよう、保護者に活動内容や頑張ったことを共有する。
3	聴覚的トレーニング等で個々に合わせた療育を提供している。	定期的にスタッフで見直し、個々に合ったものを提供することが出来ている。	内容が固定化しないように内容も見直していく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ない。	交流会は行っているが、年一回なので参加できない方もいる。	回数の検討や、保護者が参加しやすい内容の検討を行う。
2	地域との交流がほとんどない。	地域等の行事を把握するのが困難。	まずは同じ系列の事業所との関りを増やしていき、地域の行事にも積極的に参加をしていく。
3	療育スペースが十分に取れていない。	2階もあるがスタッフの配置等を考えると1階と2階に分かれての療育は難しい。（現在2階はSTの個別療育で基本使用している。）	出来るだけ療育活動が制限されないような利用者が楽しめる療育内容を考えていく。